

費

支払日	内 容	金 額 (円)	領収書No.
令和2年 2/21	会派広報紙制作・配布 (49,190部)	668,091	①
	計	668,091 円	

合 計	668,091 円
-----	-----------

貼	付	欄	領収書 No.
			①

収 入
印 紙

領 収 書
周南市議会 六合会 様

No. 011356

¥ 668,091-

令和 2 年 2 月 21 日 (消費税込)

日頃にご愛読いただきありがとうございます。
購読料・広告掲載料・制作費 月 分 として
但し 折込 制作・印刷代
上記の金額正に領収致しました。

お客様コード番号

--	--	--	--	--	--

現 金	
小 切 手	
銀行振込	
手 形	
相 殺	



(株)新周南新聞
〒745-0802 周南市栗屋二葉屋開作10
TEL.0834-26-0303 FAX.0834-26
nikkanss@ccsnet.ne.jp

お客様の個人情報は新周南新聞社が責任をもって管理します。

周南市議会「六合会」

福田 健吾 長嶺 敏昭

青木 義雄 福田 文治

佐々木照彦



令和元年6月18日 藤井律子市長の就任にあたり、改めて重点要望を会派「六合会」として提出いたしました。

政策要望書 (順不同)

1. 周南緑地整備事業の推進と陸上競技場の改修
2. 崩落の危険性の高い太華山の災害対策
3. 福川南地区の雨水排水事業の早期実現
4. 福川駅ホームのかさ上げ
5. 福川駅前及び駅前トイレ整備と陸橋の計画的修繕
6. 保土ヶ谷化学工業出口交差点の交通状況改善
7. 市道上迫線と国道2号線の交差点の信号機の機能変更
8. 中心市街地以外の場所における出店に対して補助制度を創設
9. 遠石地区の交通安全対策
10. 新規漁業就業者の確保とパッケージ支援制度の確立
11. 持続可能な中山間地域づくりに対する支援
12. 鹿野総合支所跡地整備計画の早期具体化
13. 民間活力を生かした駅南・港周辺の活性化及び水産物市場の民営化
14. 公正・公平な入札制度の早期確立
15. 山口県との連携強化で可能な施策の開陳
16. 子育て支援の更なる拡充と主要5教科だけでなく想像力を養う教育環境の充実
17. 長野山緑地公園のトイレの水洗化



福田けんこの想い

最初に、六合会の代表として、市民の皆様一言ごあいさつをさせていただきます。昨年の周南市長選挙後の会派編成に伴い、5名での再出発となりました。市長選挙の取組みの建いから会派の人数が減ってしまいましたが、残念ではありますが、これまでに「チームワークと個の尊重」を重視し、市政発展のため、そして未来への責任を果たすために一所懸命取り組んで参りますのでよろしくお願いたします。

また、昨年は市長の公約通り、「しゅうにゃん市プロジェクト」の廃止をはじめ、徐々に市政の転換が図られてきています。我々六合会としても、しっかりとその方向性に対して自らの意見を述べ、市政へ反映できるよう鋭意努力していきます。

— 私の想う5つのSHINKA(しんか) —

1. 進化 これまでのまちづくりをもっと先進的なものへ(時代の先端へ)
2. 新化 これからのまちづくりをもっと新しい目標で(時代を先取り)
3. 深化 周南市の潜在的な力をもっと磨いていくことに(時代に関係の無い強み)
4. 伸化 周南市の良さをもっと伸ばすために
5. 心化 もっと市民に心の通じる市政・市議会へ

(モノへの投資よりヒトへの投資……私の想い……)

我が市だけの問題ではありませんが、今後の持続可能性を確実にするために次世代にどういった投資をするのかということが非常に重要です。特に「教育」は重要な分野であると考えています。経済もインフラをはじめとする施設も重要ですが、最も大事なものは人であらうかと思えます。次世代のために今できることは何か、厳しい財政状況の中で我が市が生き抜く手段はどういった手法があるのか、今後様々な方法を提案していきます。

未来の責任を果たすために今後もしっかりと取り組んでいきます。

— 三月定例会市議会です —

三月の定例会では会派質問が行われます。各議員の想いがこもった質問になると思います。「チームワークと個の尊重」がこれまでに発揮されると思うのでご期待下さい。今年市長選挙後で藤井市政において初の予算提案です。藤井カラーも出てくると思います。我々、六合会もしっかり意見を述べていこうと思いますのでよろしくお願いたします。

「チームワークと個の尊重」



『都市周辺部、中山間地域の暮らしを守ります』 長嶺 敏昭

★中山間地域を走る路線バス運賃を上限ワンコイン500円に！

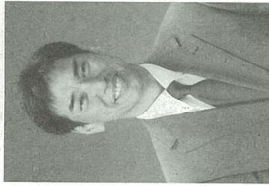
路線バスの運賃が高くてバスに乗れない。との声を聞きます。中山間地域例えば徳山―鹿野間の運賃は11160円です。往復ではその倍の料金です。これでは高齢者は出かけることを止めたり、無理して運転し事故をおこしてしまいうつながります。赤字路線バスには運行会社に補助金が出ていますが、せめてワンコイン(500円)で利用できるのではないかと思います。「徳山中心部の一部地域には、『ちよい乗100円』バスが運行しているのに、バス料金が高くて利用できないよ」と特に高齢の女性からよく言われます。以前、防長バスの社長さんから「乗車率向上のためにワンコイン運行ができなものか」との柔軟なご示唆があり、議会で質問したことがあります。高齢者の都市部への通院、買い物の手段を確保することは大切な周南市の施策です。これを具現化するために提案を続けてまいります。

★地域拠点の経済を動かそう！全域に商店リニューアル助成制度を！

テナントミックス補助事業やスーパーへの大型補助金など政策的投資が徳山中心部に偏っています。全市域に配慮が感じられる経済対策が是非とも必要と考えます。他市でも先例がある商店リニューアル助成制度の創設を検討してはどうかと思えます。20万円以上の改修工事、備品購入などにその1/2、上限100万円補助としている先進都市もあります。商店もやる気になる上に、工務店や設備業者などには、補助額の倍以上の経済効果が生まれ、経済が活性化してきます。中心市街地だけでなく副都心と位置付けられた新南陽駅周辺や福川地区さらには、中山間地域の商店や新たにカフェの開店など、全市域に恩恵が行き渡る補助金制度は、多くの商売人や市民に喜ばれることでしょう。経済対策としても是非とも必要な施策です。

★夢プランを地域で実行するための「地域経営会社」の立ち上げが必要！

各地で夢プランが策定されていますが、これを「絵にかいた餅」に終わらすことなく実践に繋げていくためには、実行部隊が必要で、それに地域コミュニティのボランティア活動だけでは継続が難しく、発展性もなくなってしまいます。これを解決するには山口県も推奨する地域経営力向上プロジェクトに参画し、地域資源を活用した収益事業も行う地域に根差した組織の法人化が必要です。NPO法人や株式会社を設立して、活動に報酬が伴うようにしなければ持続可能なまちづくりにはなりません。市民センターの運営を指定管理者制度で委託を受けるとか例えば、コンビニ経営、コインランドリー経営など視野に入れた県の活力創出補助制度に手を挙げていくべきだと思います。



監査委員に選任されました 青木 義雄

監査委員とは

昨年6月の議会において市の監査委員に選任されました。

監査委員は地方自治法第195条の規定により設置される独立の執行機関です。市の予算の執行、契約、財産の管理等の財務事務や行政事務全般が、法令等に従って適正に行われているか、また、合理的かつ効率的に行われているかを監査します。その他出納の検査や決算の審査等を行っています。監査委員は市の財務管理、事業の経営管理、その他の行政運営に関して優れた識見を有する者及び市議会議員のうちから、市長が議会の同意を得て選任します。任期は識見を有する者は4年、議員は周南市議会では1年となっています。私は令和元年6月24日から1年間、監査委員を拝命することになりました。

監査等の種類

監査は実に様々な種類があります。財務監査、行政監査、議会の請求に基づく監査、市長の要求に基づく監査、行政援助団体等に対する監査、住民監査請求に基づく監査などがあります。

財務監査は定期監査(地方自治法第199条第4項)として毎会計年度、少なくとも1回以上期日を定めて実施しなければなりません。周南市ではすべての部局を対象に、監査計画を定めて定期的に実施しています。また、市の現金の出納事務が適正に行われているかどうかを毎月検査します(例月現金出納検査～地方自治法第235条の2第1項)。

その他に決算審査(周南市では一般会計及び特別会計を7月から9月までの間に公営企業会計にあっては6月から8月までの間にそれぞれ実施し、市長に意見書を提出)また、基金の運用状況審査、健全化判断比率審査、資産不足比率審査を行い市長に意見書を提出しています。

監査基準

周南市が会員都市となっている全国都市監査委員会において全国共通の統一的な基準として都市監査基準が策定されたことから、平成16年に制定した周南市監査基準を全部改正し、都市監査基準に準拠した周南市監査委員監査基準を平成29年2月に制定し、同年4月から施行することとしました。

更なるパワーアップを

周南市議会「議会運営等の申し合わせ事項」により監査委員は一般質問を行わないとしています。これまで議員となって本会議場で一般質問を欠かさず実施してきましたが、この1年間はできず。これまでとちがった角度から議会を見ることを良い機会とらえて、監査の経験を活かし、議員としての更なる資質向上に努めてまいります。監査委員任期終了後は、本会議場でパワーアップした姿をお見せすることができるよう、がんばってまいります。どうぞよろしくお願ひ致します。

※監査等の結果は周南市ホームページの監査委員事務局で見ることが出来ます



《健全な周南市を創造して》

佐々木照彦

平成から令和の時代となり、周南市も昨年新市長が誕生しました。令和2年度には新市長のもと本格的な予算が組まれ、行政組織の改編も行われます。また、周南市まちづくり総合計画後期基本計画も策定され、今後5年間の方針も示されます。私は私の立場で、真摯に周南市の諸問題と向き合い、ぶれることなく努力してまいります。

平成31年、令和元年の一般質問

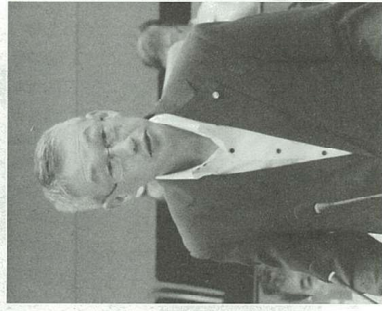
- 6月定例会 地域づくりの今後について
(定住人口、関係人口、交流人口)
- 9月定例会 ①農業委員会の役割について
②浜の活性化を目指して
③通学路の安全対策について
- 12月定例会 ①離島航路対策について
②観光振興について
③保育について

【周南市の地酒で乾杯を推進する条例】

昨年6月定例会へ議員提出議案として提案させていただき、9月定例会において修正の上、可決されました。この条例はただ単にお酒を推奨するものではありません。現在、山口県は日本酒の出荷量が12年連続で増加している。その反面県内消費は減少傾向にあること。周南市の中山間地域では、夢プランにも描かれるように地元の原材料を使ったオリジナルのお酒を造り、売り出していること。農業においては、米の生産よりも酒米の方が高価であり、転換を進められることなど地域と地元経済の活性化を目指すものです。これから行政と関係事業者が連携を取り、民間が中心となって推進していただきたい。それを私も提出者の一人としてお手伝いしたいと思います。

【関係人口について】

6月定例会の会派質問の中の一一般質問において「関係人口」を取り上げました。現在、国、県もこの関係人口の創出・拡大に向けて地域にルーツがある人々やふるさと納税の寄付者などが地域と継続的なつながりを持つ機会を提供する取り組みや、これから地域とかわわりを持とうとする都市住民などが地域課題の解決などに継続的に関わるきっかけを提供する取り組みを支援する事業を進めています。この事業は、特に担い手不足が深刻な中山間地域において、今後の持続可能な地域づくりを実現する上で、担い手の確保や将来的な移住にもつながる大変重要な取り組みです。周南市においても令和2年度は関係人口の施策について力を入れるように感じています。是非とも推進していただきたいと思います。





今こそ実行の時

福田ぶんじ

自然災害への対応

昨年の台風15号、19号が万一口県に上陸していたらどうなっていたらだろうか?危機感を抱いたのは私だけではないでしょう。特に周南市は地形的にみても山が迫り、海に面しており、河川の氾濫、土砂災害で甚大な被害を受けていたと予想できます。ハード面での対応は相当な時間がかかります。ソフト面でいかに人命を守るかが重要な鍵となります。避難連絡網の徹底、避難場所へのスラストな移動、適切な避難場所の確保・見直し、防災訓練など今後市長はじめとし防災危機管理を最重要課題として取り組んでいきます。



(H30.7 熊毛樋口地区)

	規模	被害額	死者	行方不明者	負傷者
台風15号	955hPa	1,505億円	3人		150人
台風19号	915hPa	3,961億円	99人	3人	476人

人口問題への地方の取り組み

2025年問題(団塊の世代が75歳を超え後期高齢者となり超・超高齢化社会となる)

2050年問題(人口の4割が65歳以上・人口12,600万人から8,000万人へ)

●病院・医療のバンク／年金問題・社会保障費急増／外国人の増加(労働者の不足・治安の悪化)など基本的なライフラインが危機に直面すると政府は叫んでいるが、消費税を再度上げるための口実になっているのでは?消費税にたよらない国民にやさしい前向きな税制改革を押しすすめる必要があると思う。奮める者／奮める大企業優先の政治を憂えねばならない。

●また一方で我々は、この問題に対して自衛策をこうじなくてはならない。市と市民が一体となって対応策を練っていきます。

明日の周南市活性化は教育環境の充実から「目指せ輝く周南市!」

AIを開発する側・ゲームを創る側の人間を育てよう

日本の小学生は「ゲームで遊ぶ」について「毎日」「ほぼ毎日」と回答した人は合わせて47.7%でOECD加盟国を含めた調査参加国の中で第1位です。

デジタル機器の活用が進んでおらず「コンピューターを使って勉強する」について、78.8%が「まったくか、ほとんど」と回答しています。日本はコンピューターを使って勉強しない国第1位となっています。このままでは、あと10年もしない内に多くの若者がAI難民になるかもしれません。文科省は、小学校でのプログラミング教育の必修化を決め本年度から実施しますが、目的は「プログラミングの思考をやしなうため」とあります。プログラミングそのものを教える訳ではなく、各教科に渡って考え方を指導します…?よくわかりません。周南市としてAI/IT技術での活性化を目指すチャンスと捉えれば面白い展開が期待できます。

■教育環境の改革・STEM教育の推進・デジタル環境の整備

■学校、自治体、教育/IT関連企業などが手を携えワンチームで展開できれば、近い将来周南市の活性化に繋がると考えます。

地方創生は可能か?

全国的にみても街の商店街などの衰退が進んで久しい。目先のイベントで乗り越えられるレベルではないと思われまます。幅広い分野から実績あるマーケティングを複数名招聘し徹底的に可能性を探る時期ではないでしょうか。そのための資金をケチってはいけません。

あなたは知っていますか?

「周南市の健康を支える歯と口腔に関する条例」が策定されました。

健康寿命の延伸を目的に口腔がんの予防を主に節目年齢【40・50・60・70歳】で受診できる歯周疾患検診の自己負担1,000円が無料となりました。

周南市議会 六合会

〈綱領〉

1

我々は、地方再生が叫ばれる時代に、地域の代弁者としてだけでなく、市民と共に積極的に参画型行政に関わり、周南市の未来を創造していく。

2

我々は、「是々非々」を理念としながらも、車の両輪に例えられる議会と行政は、周南市のため市民のため、ベクトルを同じくし、より良い提言を続ける政策集団を目指していく。

3

我々は、いつまでも輝きを失うことなく、それぞれの個性を尊重し、市民からも市職員からも慕われる、爽やかな議員活動に徹し、議員の範となるよう精進していく。

4

我々は、「六合会」結成の初心を忘れることなく、志高く研鑽を積み、仲間を大切にし、何事も相談できる環境の構築に努め、信頼の輪を広げていく。



「六合」とは、天地と東西南北の六極、すなわち全宇宙の意味です。
現在は5名となりましたが、決して完結的な会派でなく、
志に共感する者に門戸は大きく開かれています。